

学校法人浅利教育学園 幼稚園型認定こども園 白老さくら幼稚園	園長：小野 佳子	電話：0144-82-2640
		FAX：0144-85-2398
住所：白老町日の出町3丁目9番47号		
HP： http://www.nissho-asumoe.com/shiraoi_sakura		

	利用定員	保育時間	休園日	給食	通園バス	制服
1号	25名	9:00～13:30 (午前保育日9:00～11:30)	土曜日・日曜日・祝日 春季・夏季・冬季休暇 *2・3号の休園日以外は、 原則として一時預かりあり	あり	あり	あり
2・3号	40名	月～金曜日 7:30～18:30 土曜日 8:00～17:00	日曜日・祝日 年末年始(12/29～1/3)	あり	あり (満2歳から)	2号 あり

特別 保育等	延長保育	一時預かり(1号)	在園児以外の一時的預かり	病児保育	障がい児保育	アレルギー対応
	なし	あり 早朝(7:30～8:00) 預り(13:30～18:30)	なし	なし	あり (要相談)	あり (要相談)

	給食費	教材費	バス利用料	保護者会費	その他
1号	月額 5,500円 ※内4,500円は白老 町より補助がありま す(町民のみ)	月額 1,000円 (満3歳児はかかり ません)	月額 2,000円 (利用者のみ)	総会で決定 (令和2年度 月額600円)	制服・園帽子等 約17,000円
2号					
3号	—	—	—	総会で決定 (令和2年度 月額400円)	—

保護者に参加をお願いする行事	進級式・入園式・参観日・運動会・お遊戯会・おみこし・卒園式・修了式 など (変更になる場合があります)
----------------	--

★ 園の特徴・教育方針 ★	★ 特色ある行事・教育内容など ★
<p><主体性を育てる「あ！そう！ほっ！」サイクル></p> <p>浅利教育学園グループでは、子どもたちの「遊びこみ」を大切にしています。 好きなことに気づき、それをまわりが応援することで、 心に火がつき夢中になる。 この一連のプロセスをぐるぐるどくり返す中で、 これからの時代をイキイキと生きるための主体的な力・・・つまり、 「自分らしく、好奇心をもって、やりとげる」力を育みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 当園の行事は、幼稚園教育要領・保育指針に基づき、園生活の自然な流れの中で、生活や変化に潤いを与え主体的に楽しく活動できるように適切なものを精選しています。 行事を通して生活に必要な体験が得られること、あそびや生活がさらに意欲的になることを大切にしています。

申し込み	幼稚園利用(1号) 白老さくら幼稚園 ☎82-2640 保育園利用(2・3号) 白老町子育て支援課 ☎85-2021
------	---

「白老さくら幼稚園」ご案内



住所: 日の出町 3 丁目 9 番 47 号
 電話: 82-2640
 開園時間: 7:30~18:30

- ・0歳児 いちご組 (保育3名)
 - ・1歳児 みかん組 (保育1名)
 - ・2歳児 めろん組 (教育5名・保育8名)
 - ・3歳児 ひよこ組 (教育10名・保育8名)
 - ・4歳児 うさぎ組 (教育6名・保育7名)
 - ・5歳児 らいおん組 (教育11名・保育9名)
- 68名の園児が在籍しています
 令和2年10月1日現在

入園準備

持ち物	0・1・2歳児 (保育)	3・4・5歳児 (保育・教育共通)
・通園かばん	自由	園指定
・コップ	○	○
・コップ入れ	○	○
・歯ブラシ	○	○
※0歳児は使用できるようになってから		
・エプロン3枚 (午前/午後おやつ・給食用)	○	×
・手、口拭きおしぼり	○	○
・着替え 衣服上下 肌着上下 靴下	各2組 ○ ○ ○	○ ○ ○
・紙おむつ	○	
・お尻拭き	○	必要に応じて
・おむつ替え用スポーツタオル1枚	○	
・キッチンポリ袋	○	×
・お昼寝用バスタオル2枚	○	保育・預かりのみ○
・園帽子	×	園指定

※上記以外に、おつかいバックやお着替え袋などが必要です。詳細は園に確認してください。



さくら幼稚園の一日

《保育》

《教育》

順次登園	7:30	早朝預かり
あそびのじかん		
	8:00	順次登園
		あそびのじかん
みんなのじかん	9:00	みんなのじかん
おやつ(0~2歳児)	9:30	
昼食(0~2歳児)	11:00	
	11:30	昼食
お昼寝(0~2歳児)	12:30	あそびのじかん
	13:30	降園・預かり開始
		お昼寝
おやつ	15:00	おやつ
順次降園	16:00	
閉園	18:30	閉園

こんなことをしています!

札幌から講師を招いての幼児体操を通し、体幹はもちろん、心身共に鍛えます。個々の成長、発達に合わせ、日常の保育に取り入れており、遊びを通しての体操は苦手意識もすぐに消え、皆笑顔で楽しんでいます。

目標達成までの積み重ねの中で壁にぶつかっても負けないたくましさや、友達を応援する思いやり、達成後の満足感を味わい、次のステップへの期待へとつながります。